

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【公表番号】特表2000-516830(P2000-516830A)

【公表日】平成12年12月19日(2000.12.19)

【出願番号】特願平10-511632

【国際特許分類第7版】

A 4 4 B 18/00

【F I】

A 4 4 B 18/00

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月24日(2004.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年6月24日

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第511632号

2. 補正をする者

名称 ミネソタ マイニング アンド マニュファクチャリング
カンパニー

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル
青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751) 石 田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通りに補正する。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1 通



請求の範囲

1. 適切な雄機械式固締要素に係合させるループ固締材料であって、第1の面と第2の面とを有する延伸済みシート材料の裏材支持体から成り、少なくとも前記第1の面に、横方向に拡張した複数の離散したマルチフィラメントが実質的に連続して取り付けられ、前記糸のフィラメントが開放ループ構造を提供するループ固締材料。
2. 前記フィルム裏材支持体が、前記糸が拡張した方向に延伸される、請求項1記載の適切な雄機械式固締要素に係合するループ固締材料。
3. 前記マルチフィラメント糸が熱可塑性の延伸可能ポリマーから成る、請求項1記載の適切な雄機械式固締要素に係合するループ固締材料。
4. 前記裏材支持体が熱可塑性の延伸可能なポリマーから成り、取り付けた糸の下の前記裏材支持体の平均厚さが、前記取り付けた糸間の領域の前記裏材支持体の平均厚さより少なくとも10%厚い、請求項1記載の適切な雄機械式固締要素に係合するループ固締材料。
5. 前記マルチフィラメント糸が撚りフィラメント糸であり、前記糸が平均10 mm以下の間隔を置いて前記裏材支持体上に配置される、請求項1記載の適切な雄機械式固締要素に係合するループ固締材料。
6. 前記フィラメントの平均繊度が少なくとも12である、請求項5記載の適切な雄機械式固締要素に係合するループ固締材料。
7. フック／ループ固締閉鎖装置用のループ固締材料を製造する方法であって、
 - a) 少なくとも20本のフィラメントを有し、該フィラメントが分離可能であることを特徴とする複数の個々のマルチフィラメント糸を提供するステップと、
 - b) 延伸可能な裏材材料を提供するステップと、
 - c) 個々の糸各々が、隣接するマルチフィラメント糸に対して実質的に平行な関係で前記裏材材料に固定されるように、前記複数のマルチフィラメント糸を前記裏材材料固定するステップと、
 - d) 前記延伸可能な裏材材料、および該裏材材料に取り付けた前記マルチフィラメント糸を少なくとも2.0対1の割合で横方向に延伸し、雄機械式固締要素に係

合可能なループ固締材料を提供するステップと、を含むループ固締材料製造方法

。